

アジア競技大会愛知・名古屋招致委員会
設立趣意書

アジア競技大会は、インドのネルー初代首相の提唱により、第二次世界大戦後まだ間もない1951年、戦禍によって引き裂かれたアジア諸国の絆を、スポーツを通じて取り戻し、アジアの恒久平和に寄与したいとの願いを込めて、我が国を含む11か国の参加のもと、第1回大会がニューデリーで開催されることになった。

以来、幾つもの困難を乗り越えて発展を続け、スポーツにより友情を育み、多様性を認め合うことを通じて、アジアの恒久平和に寄与する一大イベントとなっている。

こうした中、2026年に開催予定の「第20回アジア競技大会」を、愛知・名古屋へ招致することができれば、アジアのスポーツの発展や友好と平和の促進に寄与することとなる。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催によるスポーツへの関心の高まりを引き継ぐ、日本のスポーツ界の次なる大きな目標となる。

さらには、2027年度のリニア開業のインパクトを活かした交流人口の拡大や国際競争力の強化など、愛知・名古屋はもとより、日本全体の成長への貢献にもつながり、非常に大きな意義を有するものと考えている。

よって、愛知・名古屋での「第20回アジア競技大会」の開催の実現に向け、行政、議会、スポーツ団体、経済界等の地域の総力を結集し、招致活動を強力に展開するため、ここに「アジア競技大会愛知・名古屋招致委員会」を設立する。

平成28年7月7日